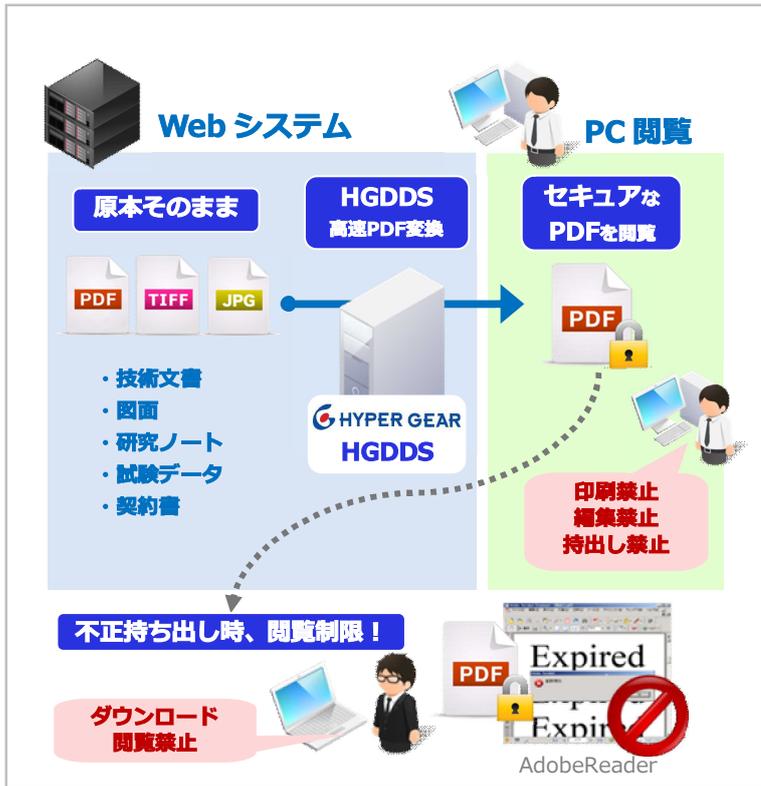


# HGDDS

## リアルタイム PDF 変換 SDK



### ■ TECHNICAL DATA 2020/7

企業活動のグローバル化が進み、国内外の事業所や取引先と同時に情報を共有し、ビジネスのスピードと効率化が求められています。そのため、電子文書管理システムで管理する、契約書、仕様書、図面、研究データなど機密情報を含む文書のセキュリティ対策が必須となっています。従来は、公開・共有用に電子ファイルを予め暗号化・権限設定したりして対策してきましたが、対象文書が広範囲になるにつれ、ファイルを原本と別に二重に管理するための負担が増える等の問題がありました。

「HGDDS」は、TIFF、JPEG、PDF をユーザが閲覧する時にリアルタイムでセキュアな PDF に変換できる SDK です。Web 上のサブレットなど、多くのアプリケーションに組み込む事ができます。

### ■ サブレットとして利用

Java™により開発された JavaBeans™コンポーネントです。各種サービシステムで、対象の画像や PDF ファイルのみセキュアな PDF に変換するシステムを構築できます。また、画像ファイルを作成しなくても、メモリ上の画像データからダイレクトに PDF を生成することも可能です。

### ■ リアルタイム高速 PDF 変換

HGDDS を使用すれば、A4/200dpi の 100 ページ TIFF データ (約 3MB) を、0.9~1.2 秒 (1 ページあたり、約 10msec) という高速で変換が可能です。また、10MB の PDF でも約 2 秒でセキュアな PDF に変換することができます。これにより、公開用のデータを事前に用意することなく、閲覧する時点で、不正利用を防止する設定をした PDF に自動変換して、公開・共有するシステムを、容易に構築することができます。大量の図面や仕様書などの技術文書の公開だけでなく、個人情報や契約書などを含む機密性の高い情報の共有や著作権に保護された電子書籍閲覧システムなど、大量のデータをセキュアに公開するシステムを構築することができます。

### ■ PDF セキュリティ設定

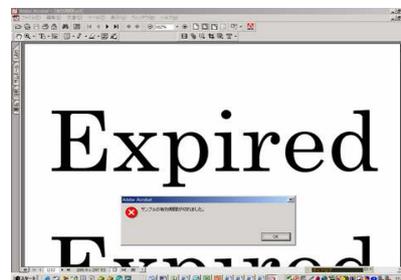
#### <セキュリティ設定>

AES128bit, 256bit 暗号化 PDF 標準セキュリティ機能を搭載し、パスワード設定、印刷禁止、変更禁止、抽出禁止の設定が可能です。変換後の PDF バージョンの指定も可能です。

#### <配布制限機能>

設定した URL の web ページをブラウザ内で開く場合は閲覧できますが、そのページから PDF をダウンロードすると、ファイルを閲覧できなくなることができます。

また、指定した有効期限以外には、変換後の PDF が閲覧できなくなる設定もできます。

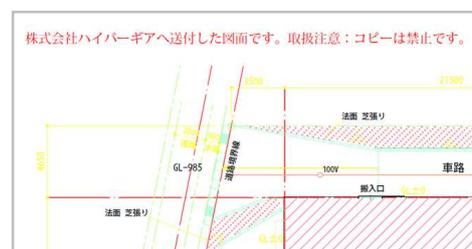


<不正持ち出し時の表示例>

### ■ ヘッダ・フッタ設定も可能

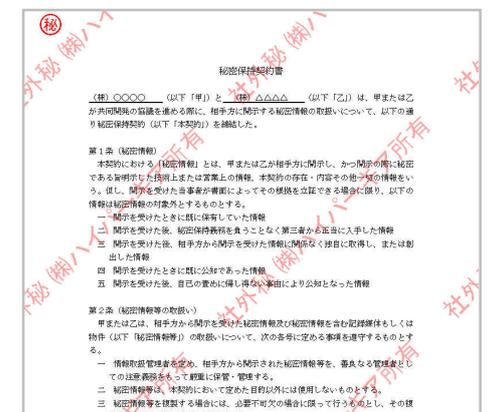
パラメータで指定したテキストを PDF 変換時、自動付与することが可能です。

位置指定、フォント、色、大きさも指定でき、配布先名称や、著作権表記など設定が可能です。



### ■ 透かし設定による営業秘密明示

透かしとして”秘密“、”持ち出し禁止“などを表示することにより、企業が秘密としての管理を指定する対象であることを、従業員、取引先等に明示することができます。



### ■ 活用例

- ・ 図面管理システム  
図面、技術文書漏洩防止、営業秘密表示
- ・ 文書管理システム  
契約書閲覧時の個人情報漏洩防止、営業秘密表示
- ・ 帳票発行システム  
基幹システム出力帳票への透かし付与
- ・ 電子書籍サービス  
コンテンツの著作権保護

導入システムのユーザ認証、アクセス権限管理機能と連携させて、社外ユーザが閲覧するときのみセキュリティ対策することもできます。

## ■機能

## ▼基本モジュール

## ・PDF 標準セキュリティ設定機能

印刷禁止、変更禁止、コピー禁止、アクセスビリティ禁止を設定できます。設定には権限パスワード指定が必要です。

暗号化は RC4 40Bit/128Bit または AES 128Bit/256Bit を選択できます。

## ・配布制限 PDF 設定機能

特定 URL でのみ閲覧可能とする制御機能を PDF に設定します。

許可されない URL/ファイルパスから閲覧した場合など、閲覧を許可する条件以外で PDF を開いた時、ページを覆うカバー画像が解除されず閲覧を防止することができます。

閲覧許可する URL は最大 3 つ、日本語を含む URL は対応していません。

## ・有効期限機能

PDF ファイルに閲覧できる有効期限を設定することができます。

有効期限が到来した場合は、「配布制限 PDF 設定機能」と同様に、PDF ファイルを閲覧することはできません。閲覧開始年月日のみ、閲覧終了年月日のみ、閲覧開始/終了年月日の両方のいずれかを指定できます。

\* 処理時に PC の現在時刻を使用しますが、PC 時刻を不正に巻き戻した場合は、次回以降閲覧をすることができなくなります。

## ・ヘッダ・フッタ設定機能

ヘッダ・フッタに以下の属性値を設定することができます。

表示文字列、文字列配置位置、文字列配置オフセット、文字サイズ、文字色、フォント種類

## ・カスタムプロパティ設定機能

PDF ファイルのカスタムプロパティ値を設定します。

カスタムプロパティ数は最大 10 個まで、設定できる文字は最大 255 文字まで。

## ・WEB 最適化設定機能

Web サーバにある PDF ファイルを閲覧するとき、PDF 全体でなくページ単位にダウンロード(バイトサービング)できるよう PDF を最適化します。容量の大きいファイルでも、ダウンロードが完了したページから閲覧可能になります。

## ▼透かしオプション

## ・透かし機能

一行テキストを1ページにつき3つ、透かし文字として変換後 PDF に設定します。設定できる属性は以下の通りです。

透かしテキスト、透かし位置、文字傾き角度、文字サイズ、文字フォント、文字の色、タイリング指定、タイリング間隔、透かし挿入ページ範囲、印刷時のみ透かしを表示

## ・透過イメージ付与機能

画像ファイルを指定して透過イメージを変換後 PDF に付与します。

設定できる属性は以下の通りです。画像ファイル位置指定、回転角度、前景色、背景透過、ページ範囲、前景色と背景色を反転、印刷時のみ表示

## ▼PDF 構成オプション(ページ抽出/結合)

PDF ファイルから指定範囲ページを抽出し、ファイル出力します。

複数の PDF ファイルを1つのファイルに結合します。

※しおり、注釈や JavaScript などの PDF の「機能」は抽出・出力できません。

- ・ Adobe, Adobe ロゴおよび PostScript は、Adobe System Incorporated(アドビシステム社)の商標です。
- ・ Windows2012/2012 R2/2016/2019 は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
- ・ その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

## ■サンプルソースコード提供

API がシンプルで、サンプルのソースコードを同梱しているので、システムに容易に組み込むことが可能です。

## ■I/F 拡張オプション

オプション追加により、下記のインターフェースがご利用可能になります  
DLL インターフェース .NET インターフェース  
詳細はお問い合わせください。

## ■対応フォーマット

- ・ TIFF モノクロ: 無圧縮/G3/G4/LZW  
カラー(RGB)・グレースケール:無圧縮/LZW/PackBits
  - ・ JPEG
  - ・ PDF1.4~1.7(暗号化されているセキュリティ設定 PDF は対象外)
- ※その他のフォーマットについてはお問い合わせください。

## ■動作サーバ環境

- ・ OS Windows Server 2012, 2012 R2, 2016, 2019 / Linux OS  
※各日本語、英語版  
動作検証済み Linux 環境  
CentOS5.7 + Oracle JRE1.8.0 Update 45  
Red Hat Enterprise Linux 8 + IBM Java 8 (32bit 版)

・ハードウェア 使用する OS が推奨するスペック以上  
処理ファイル容量、同時処理数に応じた容量のメモリが必要です。

## ・ミドルウェア

- Oracle Java SE Runtime Environment 7,8 (32bit/64bit)
- Oracle Java SE Development Kit 11,OpenJDK 1.8 64bit (64bit)

・画像を変換する場合、1変換あたり最大 2GB 程度のメモリを使用するため複数の画像ファイルを同時に変換するとシステムのメモリ量が不足し変換エラーとなる場合があります。  
以下、画像処理に必要なメモリ容量の目安です。  
・モノクロ 4A0 600dpi (約 1.1GB)・カラー A1 400dpi (約 1.4GB)

## ■対応クライアント PDF ビューワ

- Acrobat 10, 11, Acrobat DC
- Adobe Reader 10, 11, Adobe Reader DC

## ■対応クライアントブラウザ

Internet Explorer Ver 11※詳しくはお問い合わせ下さい。

## ■価格

HGDDS 基本モジュール	1,650,000 円(税込)
透かしオプション	660,000 円(税込)
PDF 構成オプション	330,000 円(税込)
I/F 拡張オプション	660,000 円(税込)
PsafeVIEW オプション	759,000 円(税込)

※オプションの場合、基本ライセンス 1 ライセンスに対しオプション 1 ライセンスが必要です。

年間保守サポート 初年度無償、次年度より標準価格の 15%/年間  
タイムスタンプ・電子署名に対応した、「HGDDS PDF タイムスタンプ SDK」もあります。

パッケージ組込み、サービス向けライセンスについてはお問い合わせください。個別カスタマイズも承ります。

## 開発・販売元

## 株式会社 ハイパーギア

〒162-0846

東京都新宿区市谷左内町 21 番地 市谷山上ビル 3F

TEL 03-5225-7531

FAX 03-5225-6512

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

お問い合わせは当社へ